



学年の様子など、ホームページもごらんください。 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



チョウの通り道

副校長 中里 充

令和4年度がスタートして約2か月経ちました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、少しずつ以前のような学校生活が戻りつつあります。学年合同の活動やペア学年との交流など、子ども同士のふれ合いが多くなってきました。家庭科の調理実習も実施できました。さらに6月は、2年生のズーラシア遠足や4年生の高尾宿泊体験学習、と子どもたちの楽しみにしている活動が続きます。今後も、横浜市のガイドラインに則り、できることを工夫しながら教育活動を進めて参ります。

さて、右の写真は3年生が理科の学習で観察しているアゲハチョウの幼虫です。実は我が家のカボスの木から連れてきました。小さく、黒かった姿も黒須田小のおいしい夏みかんの葉を食べて、ご覧の通り大きく育ちました。もうすぐ蛹から羽化し、3年生のホールから飛び立つ日が近いことでしょう。



以前、昆虫に詳しい方から「チョウの習性に蝶道とよばれるチョウの通り道があるんだよ。」と教えていただく機会がありました。特にアゲハチョウの仲間に見られる行動だそうです。日当たりや気温の条件で飛ぶ道が決まっていて、花の蜜を吸いに行った後も必ずその道に戻ってくるそうです。我が家のカボスの木は、鉢植えてそれほど大きくないのですが、この「チョウの通り道」上にあるようです。毎年アゲハがやってきて多くの卵を生みつけていきます。今後、3年生のホールから飛び立つアゲハチョウが新しい「通り道」を作り、黒須田小学校の中庭の夏みかんや竹の広場のレモンの木などに、卵を生みつけにやってくるようになると思います。

4月に着任して2か月。黒須田小学校の子どもたちは挨拶がとても上手で、初めの頃は私の胸のあたり（名札）を見ての挨拶でしたが、最近は顔を見て挨拶してくれるようになりました。「副校長先生、これ見て。」「今〇〇してるんだよ。」「私も家からアゲハの卵を持ってきたよ。」と教えてくれる子もいます。毎日、素直で人懐っこい子どもたちから元気をもらっています。この子どもたちのよりよい成長と笑顔のために、教職員が一丸となって教育活動に取り組んで参ります。また、このあたりの地域が中里連合ということで、私の苗字と同じなので何か気恥ずかしい気持ちもしますが、とてもご縁があると感じています。子どもたちの生活する「通り道」にある黒須田小学校が、安全に安心して学校生活がおくれる場所となるよう力を尽くしていきたいと思っております。

これからも保護者や地域の皆様、引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。